



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月16日

上場会社名 株式会社フォーバル

上場取引所 JQ

コード番号 8275

URL <http://www.forval.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 將典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加藤 康二

(TEL) 03-3498-1541

四半期報告書提出予定日 平成22年8月16日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	7,932	0.5	96	-	101	-	△4	-
22年3月期第1四半期	7,890	△11.2	△87	-	△90	-	△153	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△0	36	-	-
22年3月期第1四半期	△11	13	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年3月期第1四半期	14,835		4,933		30.0		327	93
22年3月期	15,814		5,126		29.2		340	03

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 4,448百万円 22年3月期 4,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
22年3月期	-	-	0	00	-	12	50	12	50
23年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	0	00	-	12	50	12	50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	16,200	0.9	200	17.9	200	29.3	100	56.2	7	37
通期	34,000	5.6	600	14.6	600	25.4	300	△33.2	22	12

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	13,866,311株	22年3月期	13,866,311株
23年3月期1Q	302,396株	22年3月期	302,323株
23年3月期1Q	13,563,944株	22年3月期1Q	13,712,567株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善もあり緩やかな回復基調にあると思われま
す。雇用環境は引き続き厳しい状況にあるものの、個人消費は持ち直しの動きが見られました。一方で、日経平均
株価は低調に推移し、為替に関しては円高基調が強く続いております。このような環境のもと当社グループの当第
1四半期連結会計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同四半期に比べ41百万円増加し、7,932百万円（前年同期比0.5%増）となりました。フォーバルテ
レコムを中核としたビジネスグループの売上が前年同期比で減少したものの、フォーバルを中核としたビジネスグ
ループの売上が増加したことによります。

営業利益は96百万円（前年同期は87百万円の損失）、経常利益101百万円（前年同期は90百万円の損失）とな
りました。フォーバルを中核としたビジネスグループが前年同期に比べて大幅に改善していることに加えて、フォー
バルテレコムを中核としたビジネスグループも普通印刷を手がける企業の業績が回復していることなどの要因で前
年同期比で改善しています。

四半期純損失は4百万円（前年同期は153百万円の損失）となりました。これは資産除去債務会計基準の適用に
伴う影響額が32百万円の損失であったこと、事務所の移転等に伴う損失が18百万円あったこと、法人税等の負担が
48百万円あったことなどによります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

売上高は3,134百万円、セグメント利益は28百万円となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

売上高は3,194百万円、セグメント利益は111百万円となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

売上高は1,535百万円、セグメント利益は16百万円となりました。

<その他事業グループ>

売上高は67百万円、セグメント損失は0百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(流動資産)

流動資産は8,849百万円となり、前連結会計年度末比920百万円の減少となりました。これは主として受取手形
及び売掛金の減少901百万円によるものです。

(固定資産)

固定資産は5,978百万円となり、前連結会計年度末比57百万円の減少となりました。これは主としてのれん、
ソフトウェアなどのその他無形固定資産の償却によるものです。

(流動負債)

流動負債は6,911百万円となり、前連結会計年度末比842百万円の減少となりました。これは主として支払手形
及び買掛金の減少595百万円、その他流動負債の減少184百万円によるものです。

(固定負債)

固定負債は2,990百万円となり、前連結会計年度末比57百万円の増加となりました。これは主として退職給付
引当金22百万円の増加によるものです。

(純資産)

純資産は4,933百万円となり、前連結会計年度末比193百万円の減少となりました。これは主として配当による
利益剰余金の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は3,518百万円となり、前連
結会計年度末に比べ162百万円の増加となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとお
りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は410百万円（前年同四半期は137百万円の獲得）となりました。これは主として
経常利益が101百万円であったのに対し、売掛債権の減少による資金の増加900百万円及び仕入れ債務の減少によ
る資金の減少595百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は44百万円（前年同四半期は18百万円の使用）となりました。これは主として貸付けによる支出が50百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は203百万円（前年同四半期は586百万円の使用）となりました。これは主として配当金の支払額122百万円、短期借入金の純減少額30百万円及び長期借入金の返済による支出29百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績は順調に推移しており、平成22年5月20日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計方針の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ1,871千円、税金等調整前四半期純利益は34,633千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は13,015千円であります。

・表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,535,791	3,372,940
受取手形及び売掛金	3,800,129	4,701,323
商品及び製品	363,516	345,589
仕掛品	63,901	49,871
原材料及び貯蔵品	20,027	29,482
その他	1,176,826	1,376,379
貸倒引当金	△110,548	△104,963
流動資産合計	8,849,644	9,770,623
固定資産		
有形固定資産	940,251	890,606
無形固定資産		
のれん	1,119,404	1,161,387
その他	387,297	419,554
無形固定資産合計	1,506,701	1,580,941
投資その他の資産		
投資有価証券	2,594,544	2,569,431
その他	1,392,846	1,454,329
貸倒引当金	△455,536	△459,390
投資その他の資産合計	3,531,854	3,564,370
固定資産合計	5,978,807	6,035,918
繰延資産	7,036	7,705
資産合計	14,835,488	15,814,248
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,284,466	3,880,361
短期借入金	1,614,562	1,650,310
未払法人税等	46,048	64,711
役員賞与引当金	2,500	10,200
その他	1,963,979	2,148,579
流動負債合計	6,911,556	7,754,162
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	219,914	243,712
退職給付引当金	1,430,285	1,407,335
その他	840,731	782,262
固定負債合計	2,990,931	2,933,309
負債合計	9,902,487	10,687,471

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	△2,997,396	△2,822,954
自己株式	△101,463	△101,446
株主資本合計	3,539,914	3,714,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	908,450	897,838
為替換算調整勘定	△307	—
評価・換算差額等合計	908,142	897,838
少数株主持分	484,944	514,564
純資産合計	4,933,000	5,126,776
負債純資産合計	14,835,488	15,814,248

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	7,890,369	7,932,336
売上原価	5,871,208	5,744,190
売上総利益	2,019,160	2,188,145
販売費及び一般管理費	2,106,431	2,091,688
営業利益又は営業損失(△)	△87,270	96,456
営業外収益		
受取利息	1,231	1,224
受取配当金	5,766	8,727
その他	11,329	10,932
営業外収益合計	18,327	20,884
営業外費用		
支払利息	10,856	8,661
持分法による投資損失	8,136	4,709
その他	2,159	2,837
営業外費用合計	21,152	16,207
経常利益又は経常損失(△)	△90,096	101,133
特別利益		
投資有価証券売却益	—	915
貸倒引当金戻入額	—	1,017
持分変動利益	3,087	—
その他	4,026	500
特別利益合計	7,113	2,433
特別損失		
前期損益修正損	20,000	—
固定資産除売却損	774	1,953
貸倒損失	2,093	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32,762
過年度不正流用損失	2,660	—
事務所移転費用	—	18,321
その他	1,671	1,843
特別損失合計	27,200	54,881
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△110,183	48,685
法人税、住民税及び事業税	8,226	33,784
法人税等調整額	27,414	14,362
法人税等合計	35,641	48,146
少数株主損益調整前四半期純利益	—	538
少数株主利益	7,390	5,431
四半期純損失(△)	△153,214	△4,892

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△110,183	48,685
減価償却費	92,006	89,006
のれん償却額	41,983	41,983
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,734	4,341
退職給付引当金の増減額(△は減少)	31,096	22,950
受取利息及び受取配当金	△6,997	△9,951
支払利息	10,856	8,661
持分法による投資損益(△は益)	8,136	4,709
持分変動損益(△は益)	△3,087	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32,762
固定資産除売却損益(△は益)	774	1,953
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,229	△915
売上債権の増減額(△は増加)	558,252	900,990
たな卸資産の増減額(△は増加)	77,026	△22,502
仕入債務の増減額(△は減少)	△487,922	△595,895
その他	△6,117	△72,789
小計	210,328	453,988
利息及び配当金の受取額	8,138	9,697
利息の支払額	△6,384	△5,938
法人税等の支払額	△74,585	△47,229
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,496	410,517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,725	△17,036
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△5,913	△16,848
投資有価証券の取得による支出	—	△10,411
投資有価証券の売却による収入	6,233	5,565
短期貸付金の増減額(△は増加)	△32,963	—
貸付けによる支出	—	△50,000
貸付金の回収による収入	—	17,499
その他	19,572	26,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,795	△44,463
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△428,126	△30,000
長期借入金の返済による支出	△46,614	△29,546
配当金の支払額	△115,911	△122,307
少数株主への配当金の支払額	△19,666	△19,778
その他	24,020	△1,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△586,299	△203,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△467,643	162,850
現金及び現金同等物の期首残高	2,731,707	3,355,940
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△19,257	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,244,806	3,518,791

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,146,406	5,743,963	7,890,369	—	7,890,369
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	15,259	20,987	36,246	△36,246	—
計	2,161,665	5,764,950	7,926,615	△36,246	7,890,369
営業損失(△)	△77,106	△10,164	△87,270	—	△87,270

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な商品及び役務の名称
事業は市場及び販売方法の類似性によりセグメンテーションしております。

事業区分	主要な商品及び役務
機器関連事業	電話機・ファクシミリ・パーソナルコンピュータ・複写機等の直接販売及び代理店販売
ネットワーク関連事業	国際・国内通信のサービス 情報ネットワーク接続に関するハード・ソフトの開発及び販売 Web関連 セキュリティ関連 その他

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、企業グループ別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、企業グループ別のセグメントから構成されており、「フォーバルビジネスグループ」、「フォーバルテレコムビジネスグループ」及び「モバイルショップビジネスグループ」の3つを報告セグメントとしております。

「フォーバルビジネスグループ」は、株式会社フォーバルを中心として、主としてオフィス用OA・ネットワーク機器の販売、サービスの取次、中小法人様向けコンサルティングサービスを行っております。「フォーバルテレコムビジネスグループ」は、株式会社フォーバルテレコムを中心として、主としてVoIP、モバイルなどの通信サービス全般の提供や普通印刷・特注文具（ファイル・バインダー等）の製造及び販売、保険サービス等を行っております。「モバイルショップビジネスグループ」は、株式会社リンクアップを中心として、主としてモバイルショップにおいて携帯端末の取次を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,134,584	3,194,835	1,535,862	7,865,282	67,053	7,932,336
セグメント間の内部売上 高又は振替高	249,448	214,951	8,420	472,820	13,840	486,660
計	3,384,032	3,409,786	1,544,283	8,338,102	80,894	8,418,997
セグメント利益又は損失 (△)	28,545	111,727	16,018	156,290	△17	156,273

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	156,290
「その他」の区分の利益	△17
セグメント間取引消去	△10,307
のれん償却額	△41,983
棚卸資産調整額	△7,525
四半期連結損益計算書の営業利益	96,456

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。